

内部監査部門の「品質自己評価導入ガイド（SAIG-Q）」の公表とご活用の依頼

日本内部監査協会 CIA フォーラム研究会 No.b4「内部監査の品質評価 2008 研究会」は、

「我が国で内部監査の品質評価を実施する際の課題識別」や「課題に対する解決策のフィードバック」、「品質評価プロセスや結果情報の共有」などに取り組むことで、「内部監査の品質評価の有効性向上」に資するべく、2009 年 2 月より活動を継続しています。

具体的には、米国内部監査人協会の公表する「プラクティス・ガイド」の翻訳や、仮想の組織体に対する品質評価の事例検証、そして、直近では内部監査体制と実務運営の評価に活用する「ツール」の開発を手掛けてきました。

その後、この「ツール」の機能向上を目的として、法人会員の皆様の「内部監査の品質評価への取組状況」につき、アンケートを実施させて頂き、内部監査の品質評価を行っている組織体はもとより、行っていない組織体も含め、品質評価の方法、対象、成果、課題、または未着手であれば理由や取り組む契機など、広く情報を収集しました。

そして、2024 年 1 月に米国内部監査人協会が従来の「専門職的实施の国際フレームワーク

（International Professional Practices Framework: IPPF）」を改定し、「内部監査の専門職的实施の国際基準 2017 年版（国際基準）」や「倫理綱要」などを包含する「グローバル内部監査基準（Global Internal Audit Standards: GIAS）」を公表したことを踏まえ、当研究会は今般、従来の「ツール」を全面的に見直し、「品質自己評価導入ガイド（Self-Assessment Introduction Guide for Quality : SAIG-Q）」を作成しました。

具体的な作成プロセスは共に掲示する説明資料に詳述する一方、SAIG-Qにおける検証項目やエビデンス例は GIAS の内容を極力反映しつつ、品質自己評価の実施歴がない内部監査部門でも取り組めるような建付を採用しています。

会員各位におかれましては、是非とも SAIG-Q を自部門の評価実施時に活用賜りたく、EXCEL 版ご希望の場合は協会事務局（seminar@iiajapan.com）宛ご連絡下さい。

併せて、活用時のコメントや要望等も頂けますと幸甚で、当研究会では引き続き、SAIG-Q を含めた品質自己評価ツールの改善に取り組む所存であり、何卒宜しくお願い申し上げます。